

2026年CGC改訂:知財・無形資産は「開示項目」から「経営戦略の中核」へ

BEFORE:開示項目

AFTER:経営戦略の中核

実務の再設計と三媒体の役割分担

知財マネジメント・ライフサイクル



三媒体間の相互参照(ハブ化)

媒体	従来の役割 (BEFORE)	CGC2026後の変化 (AFTER)
CG報告書	コード対応の表明	資本政策・成長投資を「自社の言葉」で語る戦略文書へ
有価証券報告書	制度開示の中核	「マスター模体」。知財は記述報の充実。サステナ・人的資本
統合報告書	任意のストーリー	知財・無形資産ストーリーの「詳細説明の受け皿」として機能。

成長投資への格上げ



ボードアジェンダ化と
資本市場言語への接続



新様式CG報告書対応

2027年7月末



全上場会社が
新様式で提出



資本コスト
経営の枠組み

旧補充原則



廃止